

★注意 レジюмеの内容は2ページ目以降は、先に読まないで下さい。
ネタバレになりますので。

<例題と解答例>

以下の例題は、第2部で取り上げている問題のうちの一つです。

あなたが採点者だとして、あなたは、この論文に何点つけますか。

100点満点で、合格を70点として、点数をつけ、また、どこに問題点があるか考えて下さい。

2024年6月12日に「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」が公布され、国・地方公共団体等が各種支援に努めるべき対象として「ヤングケアラー」が明記されました。本法で規定された「ヤングケアラー」の定義について述べた上で、それを踏まえて教頭としてどのようにヤングケアラーの把握に努めるか、具体的に書きなさい。

解答例

「ヤングケアラー」とは、家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っている子どもや若者をいう。なお、この定義中の「過度に」とは、子ども・若者が「家族の介護、その他の日常生活上の世話」を行うことにより、「社会生活を円滑に営む上での困難を有する」状態に至っている場合、すなわち、こどもにおいては、こどもとしての健やかな成長・発達に必要な時間（遊び・勉強等）を、若者においては自立に向けた移行期として必要な時間（勉強・就職準備等）を奪われたり、ケアに伴い身体的・精神的負荷がかかったりすることによって、負担が重い状態になっている場合を指すものであることに留意しなければならない。

その把握にあたって、子どもと日々接する学校や教職員の果たす役割は大変大きい。特に子どもの場合、自身の負担や不調、生活上の支障に対する自覚がない場合があるため、ヤングケアラーの支援について研修等を通して教職員の理解を促すとともに、必要に応じて学校におけるケース会議等において関係者間で情報を共有する等の取組が早期発見・対応につながる可能性がある。また、子ども家庭センター等とも連携しながら、子ども自身に気づきを与えるような分かりやすいアンケートを行うことも有効である。

点
数

点

この論文解答例の問題点はどこにあると思いますか？

論文作成の基礎・基本

◆ 本日（第1部）の内容 ◆

- | | | |
|---|---------------|-----------------------|
| 1 | 物事の見方と考え方 | ロジカルシンキングとクリティカルシンキング |
| 2 | 論文に取り組む前に | |
| 3 | 論文作成の技術 | |
| | 問題に正対する | 構造化 |
| | 「なり切る」と「具体策」 | 「触れ」と「踏まえ」 |
| | 採点者の「目」を持った校閲 | |
| 4 | まとめ | |

1 物事の見方と考え方

(1) _____思考（_____シンキング）

論文を書く場合には、_____思考（英語では「Logical Thinking」）が必要。

○なぜ必要なのか？

論文は自分の考えを述べるもの・読み手に伝えるもの



その考えと構成が_____でないと伝わらない。

○論理的思考を身につけるには？

常に論理的な思考をするよう心掛ける➡_____化

○逆説的に言うと、

論理的思考力 ➡ 管理職に必要な資質

(2) _____思考（_____シンキング）

もうひとつ大事な事は、Critical thinking。批判的に考えること（_____思考）。

「批判的」≠「_____的」

「排除する」とか「拒絶する」というようなイメージではない

「これで_____か？」、「これが_____か？」、「他にはないか？」、

「客観的に考えるとどうか？」「_____？」などの問い掛け

○なぜ必要か？

・論理的思考と批判的思考は_____の関係にある

・採点官は、論文を読む際に”批判的”に読んでいる。



論文を書くときには、_____読まれることを想定しながら書く必要がある



問題や課題の考察、解決策の検討の段階から_____することが必要

○批判的思考を身につけるには？

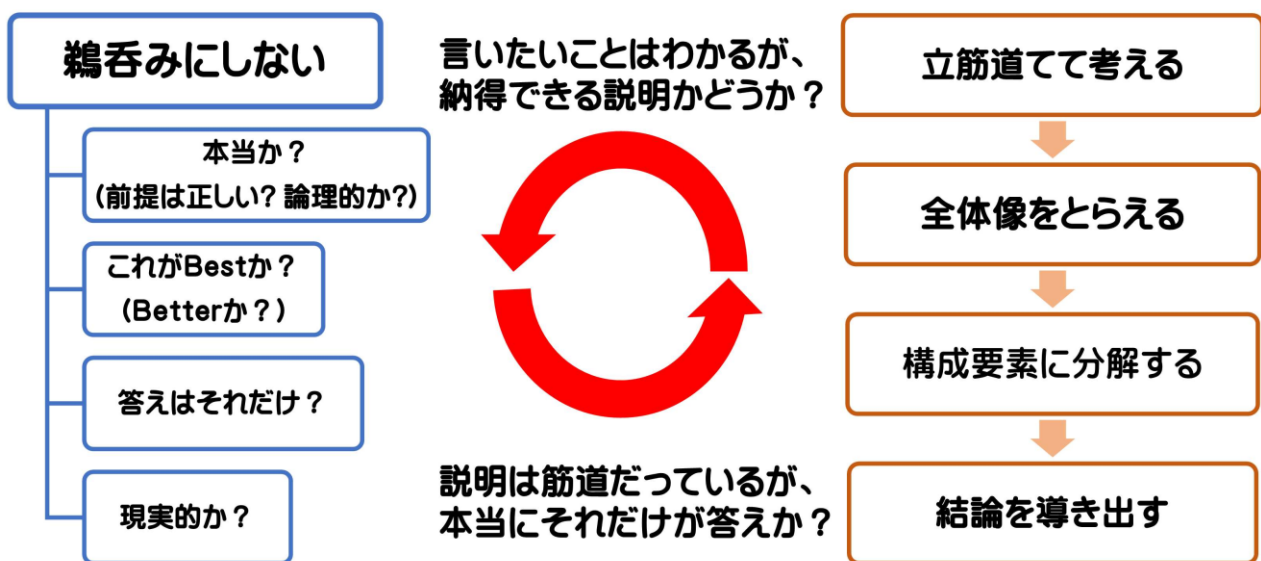
_____の振り返て、_____が振り返せ。

学校で起こる様々な出来事に対する上司の対応を、批判的に検証する。
自分ならどう対応するかを考える

クリティカルシンキングとロジカルシンキングは補完し合う関係

クリティカルシンキング

ロジカルシンキング



※「【具体例で解説】クリティカルシンキングとは？批判的思考の意味と実践方法」に 加筆

<https://xn--tcke8gsdh0c7c.com/criticalthinking>

2 論文に取り組む前に「彼を知り 己を知れば 百戦^{あや}殆うからず」(孫子)

(1) 彼を知る

- ① 管理職試験の目的とは _____ 採点官は _____ に評価している！
- ・ 管理職に _____ 人材かどうか？
 - ・ _____ ための試験

② 管理職に求められる資質・能力の把握

宮崎県教員育成指標＜校長、副校長、教頭＞ R 5（改定）

● マネジメント

・ _____ 的 _____ 力

学校独自の伝統や文化等を大切 不易と流行 新たな価値創出

状況変化を的確・迅速に捉え、適切に判断

情報を収集、整理、分析し共有（ _____ 能力）

・ _____ シップ

・ _____ 育成力

職員のキャリアデザインの実現 職員が必要な学びを主体的に

研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

・ 外部 _____ 力

学校の教育力を最大化していくことができる。

_____ 能力

・ _____ 運営力

危機管理の徹底

● セルフマネジメント 教職としての基本姿勢

校長 社会的責任を自覚した行動

教頭 _____ な判断と行動、部下の _____

コンプライアンスチェック

_____ や _____ に沿った行動

共通 ワーク・ライフ・バランス

前向きな行動計画的な行動 _____ な判断、 _____ した行動

（２）己を知る

① 管理職としての見方や考え方

- ・ 問われる「管理職としての _____ や _____」、
「管理職としての _____ ・ _____」

② _____ 課題、 _____ 課題の把握

- ・ _____ 的に教育課題や経営課題について、その _____ や _____ を押さえ、
管理職としての考え方や方策を整理しておく

③ 管理職としての _____ を描く ⇒ _____ ビジョン・ _____ ビジョン

- ・ 最終的には「教育者としての _____」～教育のあるべき姿を追い求める姿勢

3 論文作成の技術

(1) 問題に正対する

① 「題意」をつかむ

【例題 1B】

今日の学校では、不登校やいじめ問題、さらには、自殺や他人の命を危険にするような行為など、生徒指導上の課題が山積しています。また、学校における働き方改革が推進される一方で、教職員による体罰やコンプライアンス等も大きな社会問題となっています。あなたは校長として「体罰のない学校」づくりのために、どのような学校経営を進めますか。法的な根拠を踏まえて具体的に述べなさい。

【例題 1C】

現在、家庭や地域からの学校への信頼感が揺らいでいます。学校への信頼を構築することは、充実した教育活動を成り立たせるための基本となります。そのためには、学校教育目標や校長の経営方針、教育課程等について、共通理解を促し、その具現化に向けて地域と一体となって協働していく必要があります。このことについて、あなたの勤務する学校の実態をふまえ、教頭としてどのように取り組んでいくか具体的に述べなさい。

② 出題背景の整理 → 大前提 としての押さえ

【例題 2】

これからの学校教育では、教科等の枠を越えて育成すべき資質・能力を全教職員で共通理解することはもとより、保護者や地域社会とも共有することが求められています。このことをどのように受け止め、どのような学校経営を行っていこうと考えるか、具体的に述べなさい。

大前提＝序論・リード文 課題の背景を簡潔に論述する
どのように受け止めたかを簡潔に述べる

③ 注意点

● 「しめた」と「しまった」

● 「正対する」ということは？

● 失敗を防ぐために

(2) 論文の構造化

① 論文問題の四つの種類

①課題指定論文、②課題選択論文、③課題設定論文、④課題指摘論文

② 得意な構造（型）を持つ

論文とは、その名の通り「論理的な」文章。

論理的とは、理路整然としていることが肝要。 ⇒ 構造化された文章

・論文は、「形式より中身」と言われるが・・・ ビジョンが見えない

・「論文三悪」①読みにくい ②分かりづらい ③読み応えない

・論文の形式

論文の形式	構成例
三段論法型	序論(大前提)⇒本論(小前提の2・3の柱)⇒結論
結論先述型	結論⇒課題認識⇒論理展開・本論⇒結語
起承転結型	問題想起・提起⇒状況・理由⇒論理展開・本論⇒まとめ・結語
書き流し型	特に序論などを設けず、箇条書きなどで列挙する

・三段論法 OPQ分析

O:Objective (目標・目的) → 望ましい状況

P:Problem (問題) → 「望ましい状況とのギャップ」

Q:Question (疑問) → 問題を解消するために解決しなければならないこと = 「課題」

⇒ A:Answer (課題の解決策)

・柱立て 2～3の「柱」(具体策の表題に当たる)を立てて論述する。

③ 「柱立て型」論文の構成

【例題3B】

道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行うものとされている。また、新しい学習指導要領の本格実施に伴い、「道徳の教科化」が実施されつつあります。勤務校の実態を踏まえ、道徳教育推進上の課題を明らかにし、校長として、道徳教育推進体制の充実にとどのように取り組むか述べなさい。

①構造図 ～ シナリオを描く

②枠中に要点を

序論

問いの受け止め、

現状認識

具体策概要

本論

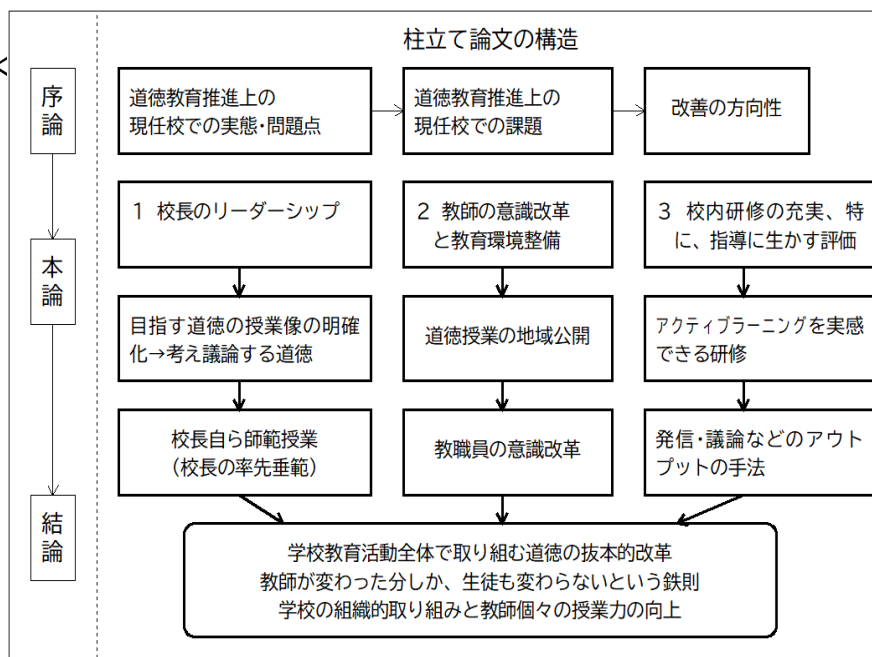
2・3の柱別に

「…のために…する」

結論

まとめと実現への決意

③構造図に従って文章化



(3) 「なり切る」ことと「具体策」の重要性

【例題4C】

あなたの勤務校では、一人一台端末の整備は終わったものの、その活用はあまり図られていない。勤務校におけるGIGAスクール構想を推進するために、校長（教頭）としてどのように取り組みますか。

【解答例4C①】

第一に、教職員のICTスキル向上を図るための研修を行う。第二に、ICT活用による効果的事例の収集を行い、模範事業などを実施し、活用の利点をアピールする。第三に、初任者への励ましの声を忘れず、初任者との人間関係を良好に保つ。第二に、外部研修受講後のフォローを着実にを行う。第三に、地域におけるICTボランティアを募集し、授業の支援をお願いする。具体的には、・・・・・・・・・・。

以上のような方策により、ICT活用の推進し、GIGAスクール構想の実現に努めたい。

① 校長(教頭)に「なり切る」～試されるのは、

- ・ 校長（教頭）になった後の（ ）
- ・ 管理職としての（ ）
- ・ それらを支える（ ）

② 「なり切る」には

- ・ 視点① 管理職としての方策
- ・ 視点② 複数の視点からの方策
- ・ 視点③ 独自性のある発想に基づく方策

【模範例4C②】

GIGAスクール構想では、ICTの効果的な活用を通して、学びの連続性と子ども達の可能性を伸ばし、協働的な学びと個別最適な学びの実現を目指すことが重要である。そこで、第一に、主体的対話的な学びの実現のための研修を推進し、協働的な学びの実現を図る。第二に、ICT活用推進の組織体制を整備し、個別最適なマネ日の実現を目指す。具体的には、・・・・。

コロナ禍の未曾有の危機の中にあって、ICT環境が急速に整備されたことは、ある意味で大きなチャンスである。校長として、日本型教育の良さを活かしながらも、誰一人取り残すことがない教育を推進できるよう、全力で取り組みたい。

③ 具体策を持つ = 論文は作文ではない 問われるのは文章力ではない。

・ どのようにするか？ 具体 性や 独自 性のある策は？

・ 一生懸命さ が伝わってくる文章



管理職としての 使命感 や 実行力

・ 実現できそうもない「策」の連続 ⇒ 管理職としての疑問符を付けられる。

④ 採点者はここを見る

【例題6A】 あなたの学校で、教職員の働き方改革の推進にむけて、どのような方策を講じますか。	
解答例A	現任校における長時間勤務の実態をしっかり把握し、課題を明らかにして、具体的な対策を講じる。
解答例B	現任校では、長時間勤務の一因に、文章事務の多様化と重複があると考え。そこで、分掌主任をチームリーダとして、校務の統合と分業化を推進する。
解答例C	現任校では、部活動指導が長時間勤務の原因となっている。そこで、全ての部活動に外部指導者を導入し、教職員の負担軽減を図る。
解答例D	学校の重点目標の一つに、教職員の働き方改革を掲げ、教職員一人ひとりが業務改善の意識をもって業務にあたるよう、教職員評価制度を活用して、意識改革にあたる。

評価 コメント

A	×	手順としては悪くないが、自校の実態を理解できていない。その具体策を尋ねている。	
B	△	妥当な意見であるが、実現は難しいだろう。	
C	△×	もっともな意見だが、実現可能かどうか？	
D	△	妥当な意見であるが、自校の実態を踏まえているかどうか疑問。	

【例題6B】 どのように特別支援教育を充実させますか。	
解答例A	生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、インクルーシブ教育システムの構築を頭に、ノーマライゼーション社会の実現に向けた取組を進める。
解答例B	全教員に先進校視察の機会をつくり、特別支援教育への理解を深めさせるとともに、障がいのある生徒の保護者との対話の会を学期に2回以上持ち、何でも気軽に話し合える人間関係を培う。
解答例C	障がいのある生徒がいるクラスは常に複数の教員に担当させる。また、特別支援教育コーディネーターには授業を持たせず、特別支援教育に専念させる。さらに、「放課後学習室」を開設し、苦手分野を克服する策を講じる。
解答例D	特別支援教育コーディネーターを指名し、個別の教育支援計画・個別の指導計画を策定させるとともに、障がいに応じた指導法について外部講師による研修会を実施する。
解答例E	運動会等の実施案の中に、必ず障がいのある子との交流活動の視点を入れるよう担当者に指示する。「共助」の精神を学び、互いに良い点を認め合えることは、私の目指す「笑顔あふれる学校」づくりに役立つと信じる。

評価 コメント

A	×	具体策に欠ける。横文字を並べただけの無味乾燥な文章は、味気ない。	
B	△	「どのように取り組むか」とは、具体策を問うているので。	
C	×	実現可能な策かどうか？ 大風呂敷はたたむのが大変。	
D	△	独創性のある策かどうか？ 学習指導要領等に明記されていること。	
E	△	理念に迫る策。どのようなビジョンを持ち、それをどう具現化していくかという実行力が試される。	

(4) 「触れ」・「踏まえ」に深入りしない

例題7 これまでの体験を踏まえ、関連法規にも触れ、研修の重要性を述べなさい
【論文例7A】 新任生徒指導主事研修では、〇〇の具体例を多く知り、以後の職務に非常に役立った。服務事故防止研修では、法的知識の重要性を再確認した。危機管理研修では、△△の具体的事例をグループ研究することで初期対応の在り方を学ぶことができた。さらに、☆☆研修では、〇〇することにより、××研修では、□□を身に付け…
【論文例7B】 研修には、職務命令による研修、職務専念義務の免除による研修、勤務時間外に行う研修の3種類がある。まず第一の職務命令による研修であるが…

① 「深入りしない」方法① 「触れ」「踏まえ」は（ ）

② 「深入りしない」方法② 「触れ」「踏まえ」に深入りしないための（ ）

論理的思考と批判的思考をしっかり行う事が肝要

(5) 採点者の目を持った校閲

(1) 誤りやすい漢字や表記

① 同音異語

指命：指定して命ずること
使命：責任をもって果たさなければならない任務
連携：互いに連絡をとり、協力して物事を行うこと
連係：他と切れ目無い密接な関連をもつこと
交歓：互いにうちとけあって楽しむこと
交換：互いにやり取りすること
絶対：他に並ぶものがないこと
絶体：命の危機が迫っている状況 通常は「絶体絶命」の四字熟語で使われる
計る：時間や程度を調べる
図る：計画を立て実現を目指す
諮る：他人の意見を問う
追求：目的のものを手に入れるために、どこまでも追い求めること。利益の追求
追及：どこまでも追い詰めて責任や欠点を問いたすこと 責任の追及
追究：不明なことを、深く調べて明らかにしようとする事 真理の追究
保証：まちがいなく大丈夫であるとうけあうこと
保障：ある一定の状態を保護すること
直截：まわりくどくなく、ずばりと表現すること 「ズバツと」
直接：間に何もはさまずに接すること 「じかに」
共同：一緒に使う・行う 「二人以上が一緒に」という点は共通

協同：利益を求め、組織的に 協働：団体同士

回復(快復)、究明(糾明)、温かい(暖かい)、命(名)、意思(意志)、移動(異動)、進める(勧める)

② 誤りやすい言葉

○問題と課題。

問題：「あるべき姿」と「現状の姿」の間に許容できない差があること。問題＝状況

課題：どうすれば問題を解決できるか。課題＝状況を改善するための「問い」

○視点と観点と論点

視点：物を見るために向けた視線がそそがれる点。狭く、見る

観点：観察・考察する立場。見地。見かた。 広く、考える 使い分け微妙か？

論点：議論の対象とする問題点のこと。物事を考察・判断するときの立場

○意思と意志

意志：積極的なもの、行動をとともなうものを「意志」

意思：どちらかという消極的なもの、行動をとともなわないものを「意思」

○規準と基準

規準：物事を判断する場合に、守らなくてはならない規範や規則 質的な標準

基準：物事を判断する際のもととなる標準 量的な標準

③ 完全な誤字 小人数(少人数) 完璧(完璧) 専門(専門)

④ 判断が難しい語句・用法・「年度始め」、「年度初め」、「子ども」と「子供」、「児童生徒」と「児童・生徒」

⑤ 教育用語・関連用語：教育に関する用語のミスは致命的。業界語・省略形を使わない。

例 学校長 親学級 新採 など

8 おわりに

(1) 物事の見方・考え方

普段からの、 論理思考・批判的思考の習慣化

(2) 彼を知り 己を知れば 百選殆からず

管理職の立場で「見る」「考える」

(3) 論文作成の技術

問題に正対する 構造化 なり切る一具体策 触れと踏まえ

(4) まずは書いてみる 論文三悪

・「論文三悪」①読みにくい ②分かりづらい ③読み応えない

(5) 出題予想も準備の一つ

①【対策1】通知・答申等をまとめる

②【対策2】教育問題を整理する

③【対策3】地教委の方針等に精通する

④【対策4】「不易」の問題をよく知る